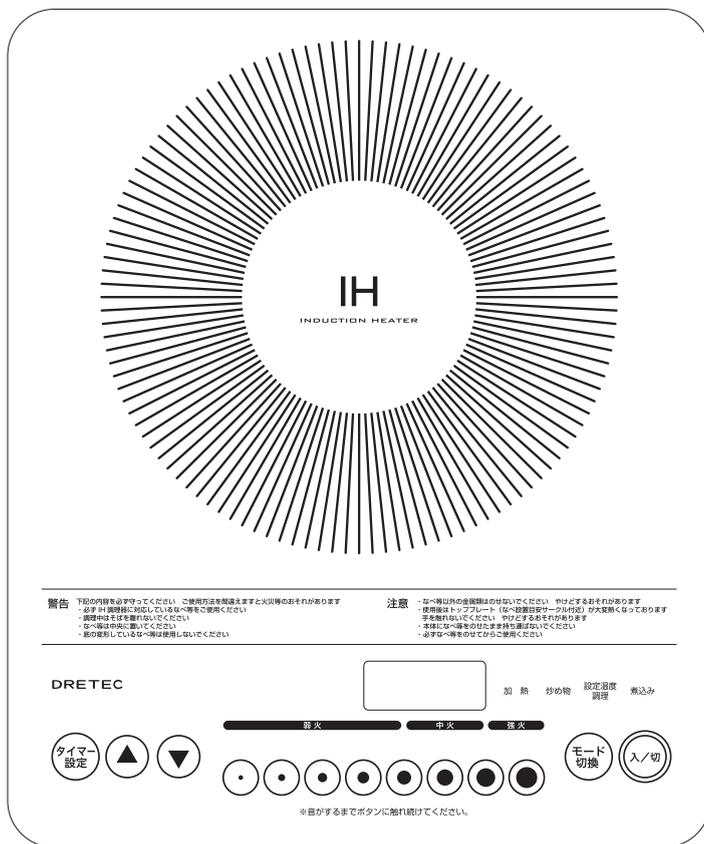
DRETEC

# スリムフラットIH調理器
# 取扱説明書 保証書付

品番 DI-108

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、ありがとうございました。
この製品を末長くご愛用いただくため、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この説明書はお手元に保存され、必要に応じてご覧ください。

## もくじ



この製品は日本国内用に設計されておりますので、国外では使用できません。( FOR USE JAPAN ONLY )

# 安全上のご注意

●必ずご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する内容ですので、必ずお守りください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示の項目について、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。 |

| | |
|---|---|
| ⚠ 注意 | この表示の項目について、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。 |

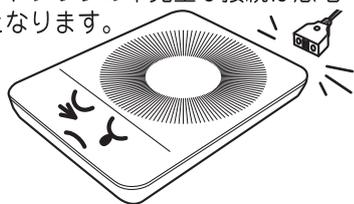
## 図表示の例

| | |
|---|---|
| ⚠ 注意 | この記号は、警告や注意を促す内容のものです。図の中に具体的な注意内容を示しています。 |
| 禁止 | この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容を示しています。 |
| 指示 | この記号は、行為を強制したり指示したりする内容のものです。図の中に具体的な指示内容を示しています。 |

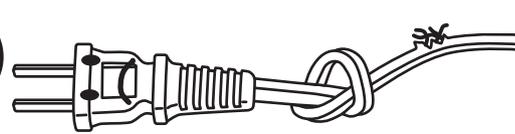
## ⚠ 警告

電源プラグは根元まで確実にさし込んでください。また、マグネットプラグを本体に接続する際は、接続部に異物がないかを確認し、異物は取り除いてください。

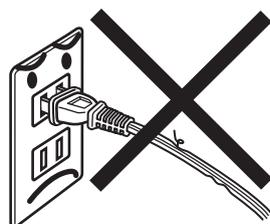
●さし込みが不完全な場合やさし込みのゆるいコンセントの使用、またマグネットプラグの不完全な接続は感電・発熱による火災の現因となります。

指示

電源コードを傷つけたり、破損するようなことはしないでください。

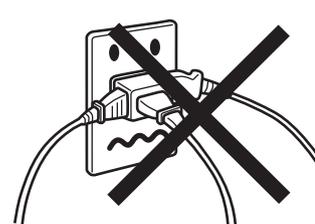
●傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物をのせる、束ねるなどしないでください。
●コードが傷つくと感電・火災の原因になります。

禁止

電源コードやプラグが痛んだり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しないでください。

●感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。

●タコ足配線をするとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。

指示

禁止

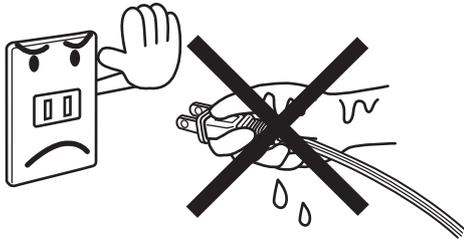
交流100V以外では使用しないでください。

●火災の原因になります。

## ⚠警告

電源プラグをぬれた手で抜きさししないでください。

●感電や故障の原因になります。

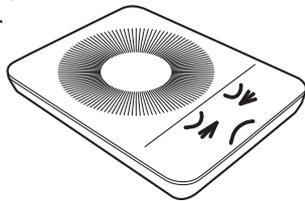
ぬれ手禁止

改造はしないでください。修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理をしないでください。

●発火・感電・けがの原因になります。

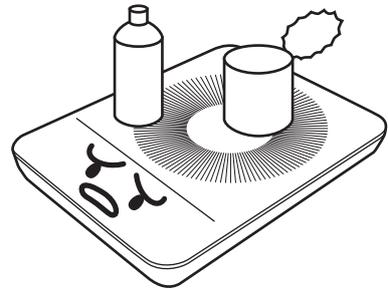
分解禁止

トッププレートに衝撃を加えないでください。

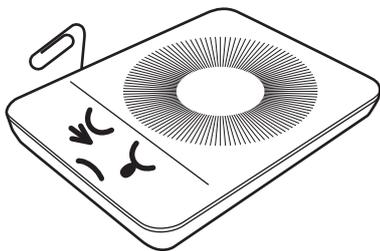
●ひびが入ったり割れた場合、ガラスが破損し破片が飛び散り、大けがをするおそれがあります。またそのまま使うと加熱し過ぎたり異常動作・感電の原因になります。このような場合はただちにご使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止

トッププレートの上に、ガスボンベ、缶詰、その他電気製品などを置かないでください。

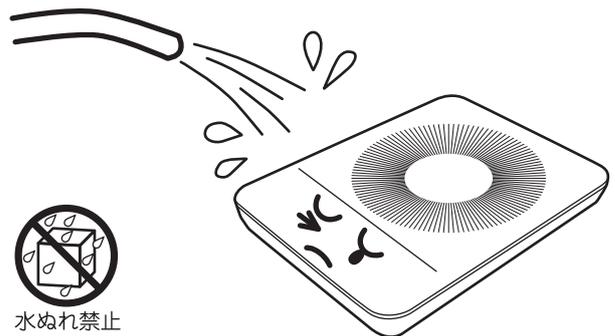
●爆発・火災・やけどなどの原因になります。

禁止

吸気口・排気口やすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れないでください。

●感電・ショートや異常動作を起こし、けがの原因になるおそれがあります。

禁止

水につけたり、かけたりしないでください。

●感電・ショート・故障の原因になります。

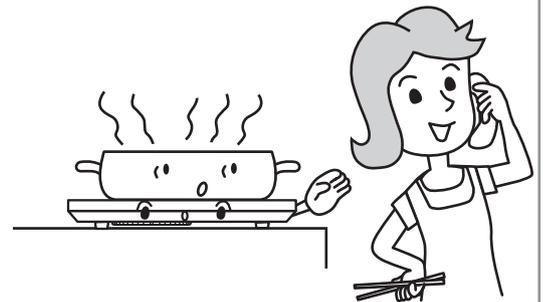
水ぬれ禁止

子供など取り扱いに不慣れな方や困難な方だけでのご使用は避けてください。また、乳幼児の手の届くところで使わないでください。

●けが・やけど・感電の原因になります。

禁止

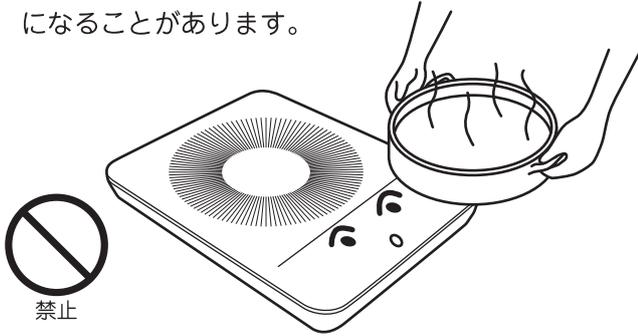
調理中はそばを離れないでください。特に揚げ物調理中はそばを離れないでください。

●油温が上がりすぎて発火するおそれがあり大変危険です。

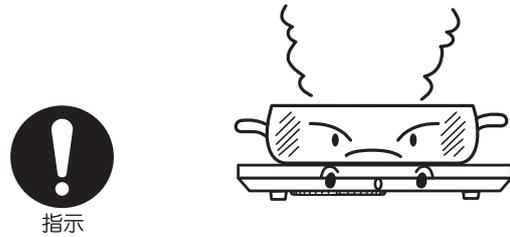
禁止

## ⚠注意

他の器具(ガスコンロなど)であらかじめ加熱した油を使わないでください。

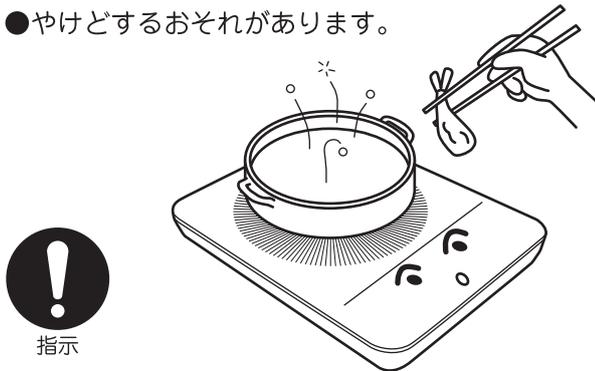
●温度制御装置が働かずに異常加熱し、火災の原因になることがあります。

禁止

揚げ物調理中に油煙が多く出たら電源を切ってください。

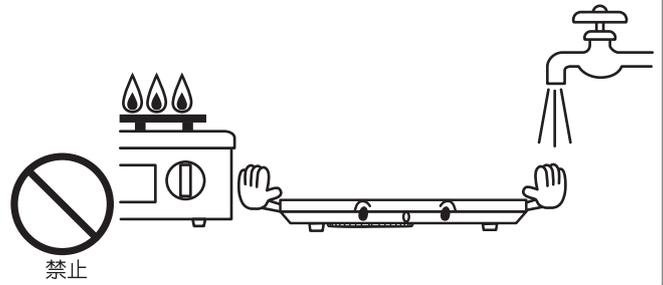
●油が高温になっていますので続けて加熱すると発火し火災の原因になります。

指示

揚げ物調理中は油の飛び散りに注意してください。

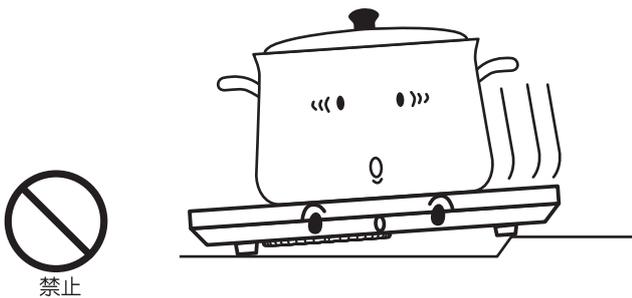
●やけどするおそれがあります。

指示

水のかかる所や火気の近くで使用しないでください。また、金属の台の上での使用もしないでください。

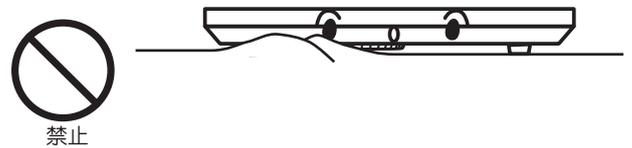
●故障、変形や感電、漏電の原因になります。

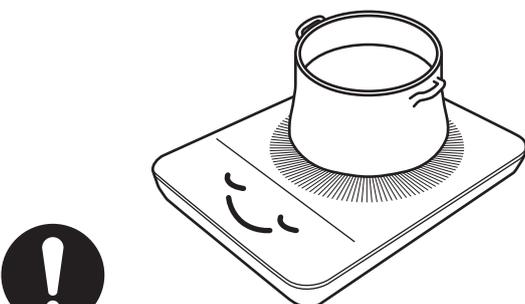
禁止

不安定な場所では使用しないでください。

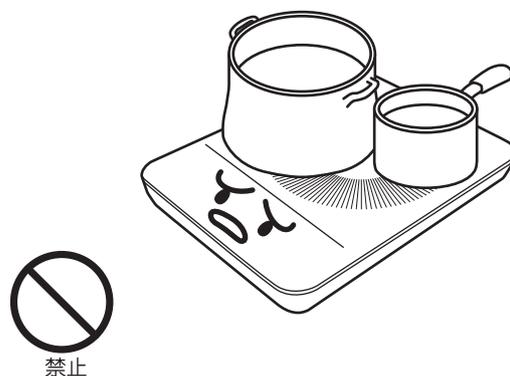
●本体が傾いていると、鍋が滑り落ち、やけど・けがの原因になります。

禁止

吸気口・排気口はふさがないでください。

●本体内部の温度が上がりすぎて、火災の原因になります。とくにテーブルクロスのしわなどで吸気口・排気口をふさがないようにご注意ください。

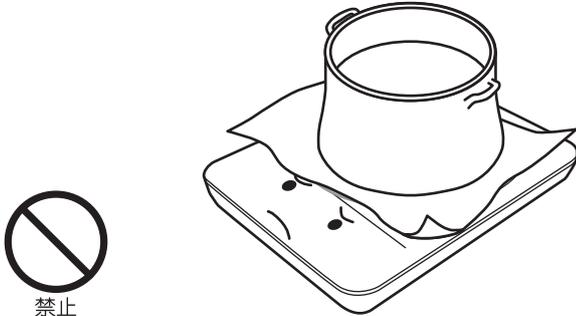
禁止

鍋などは中央において使用してください。

指示

複数の鍋などをのせて使用しないでください。

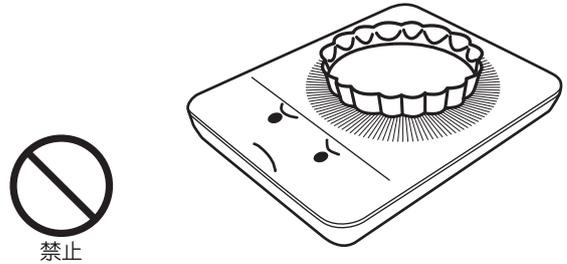
禁止

## ⚠注意

鍋の下に紙などを敷かないでください。

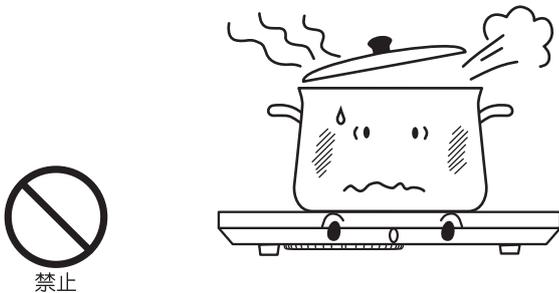
●鍋の熱で紙がこげたりして、火災の原因になります。

禁止

トッププレートの上にアルミ製容器（使い捨て簡易鍋など）・アルミホイルやレトルトパックなど、鍋以外のものは載せないでください。

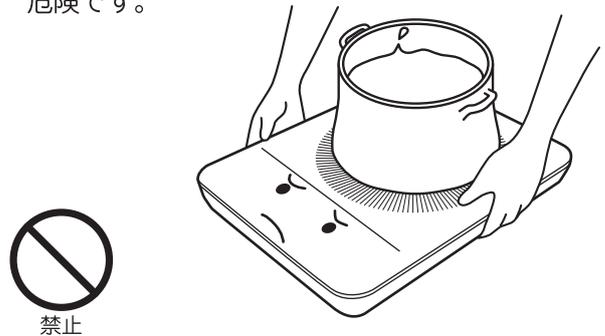
●破裂したり、赤熱してやけど・けがの原因になります。

禁止

空だきや加熱し過ぎないでください。

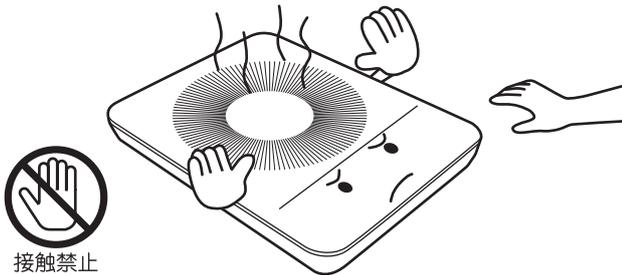
●鍋が熱くなり、やけどの原因になります。また、鍋の破損や本体の故障の原因になります。

禁止

本体に鍋を載せたまま持ち運ばないでください。

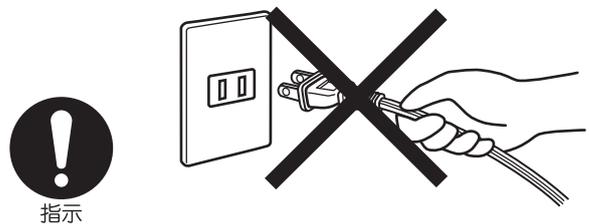
●鍋が滑り落ちて、やけどやけがの原因になり、大変危険です。

禁止

使用後しばらくはトッププレートに触らないでください。

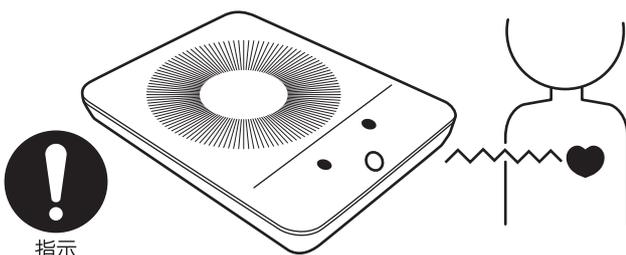
●鍋の熱でトッププレートが熱くなっているため、やけどをするおそれがあります。

接触禁止

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って抜いてください。

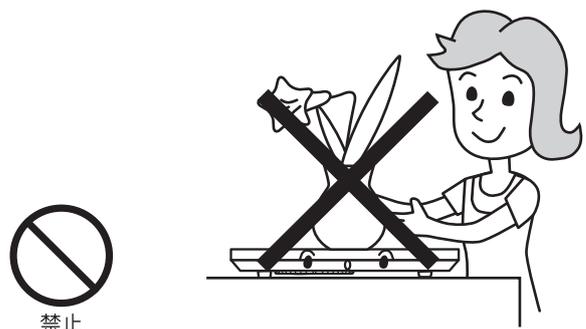
●コードを引っ張ると、破損して、感電・ショート・火災の原因になります。

指示

心臓用ペースメーカーをお使いの方は、本製品のご使用にあたって必ず医師にご相談ください。

●本製品の動作が、ペースメーカーに影響を与えることがあります。

指示

調理以外の目的に使用しないでください。

●故障や発火の原因になります。

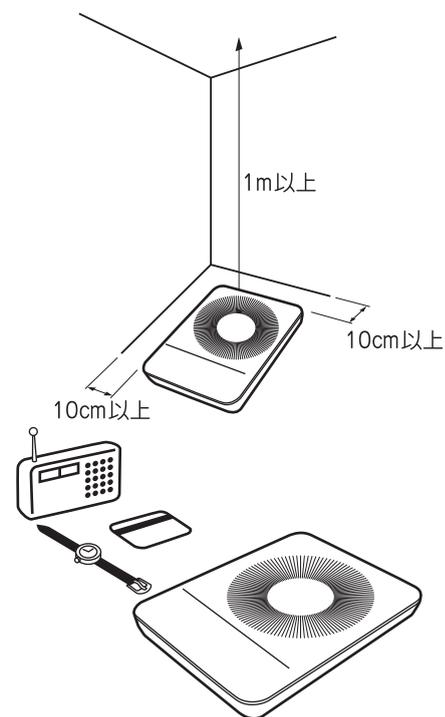
禁止

# 使用上のご注意

① 本製品の上方や周囲に可燃物や壁・棚があるときは、そこから離してお使いください。
- ●油が飛び散って、やけどや火災の原因になります。
- ●上方約1m以上、周囲約10cm以上開けてお使いください。

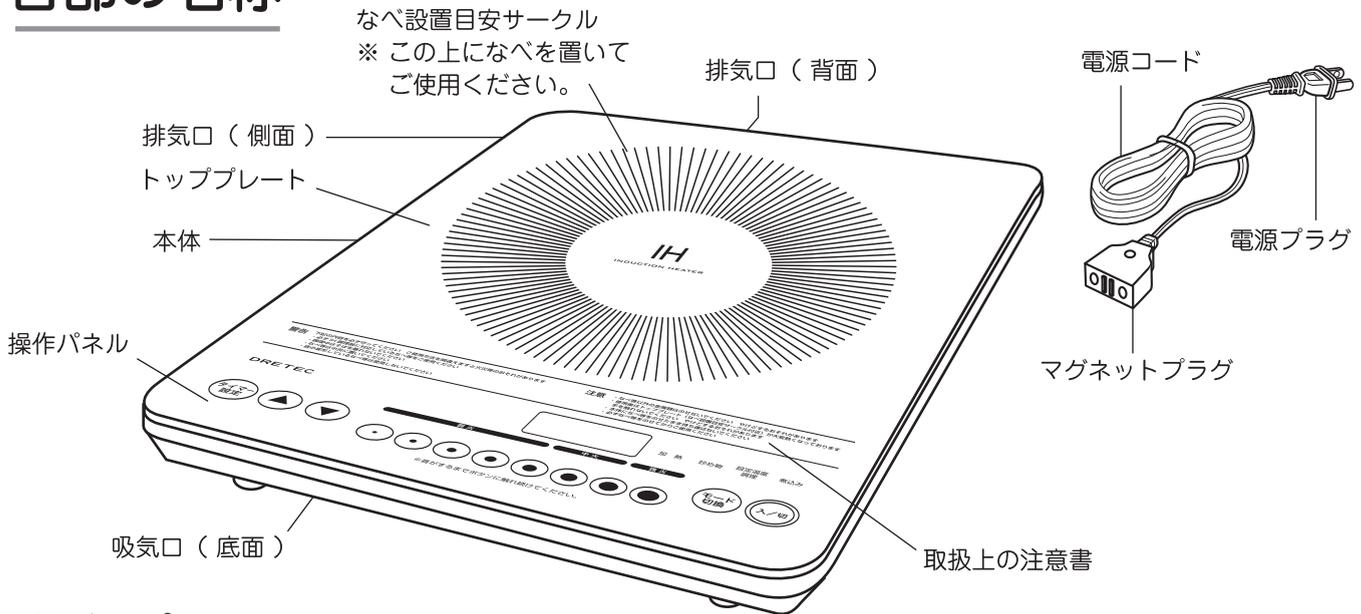
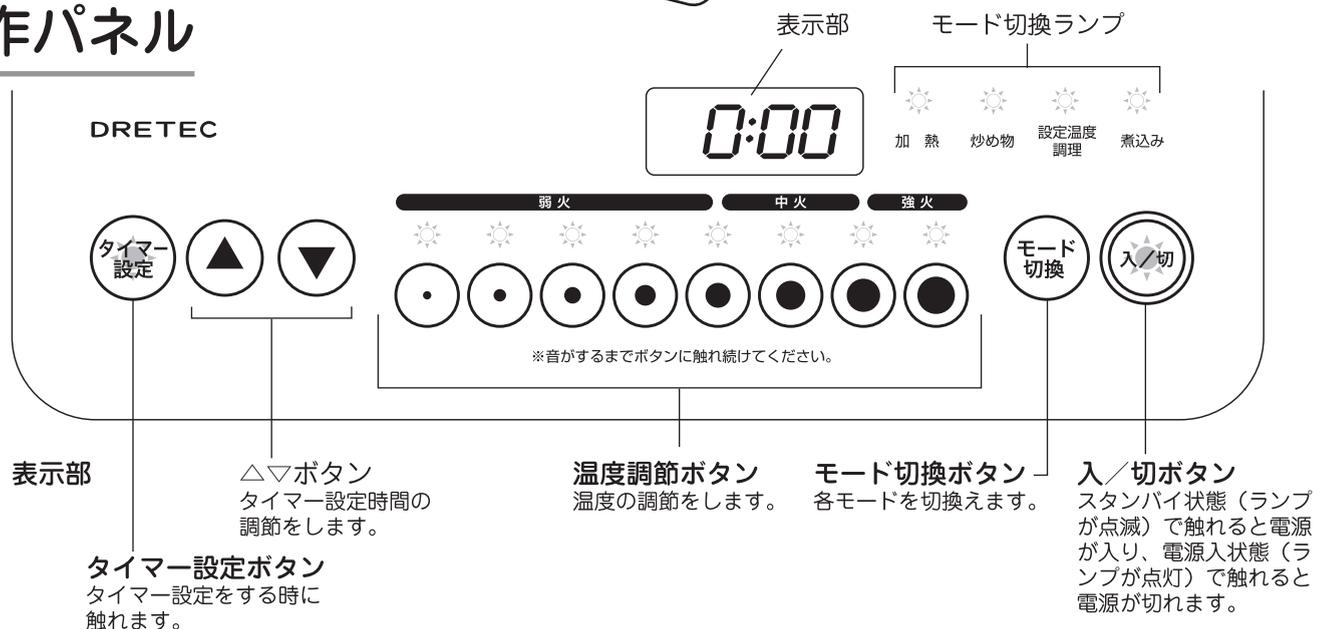
② 鍋の種類や形状により、鍋底の温度が急激に上がったり、高温になるものがありますので十分にご注意ください。

③ トッププレートや鍋の底がぬれた状態で使用しないでください。
- ●鍋の底から湯気が吹き出して、やけどの原因になります。

④ 使用中は磁力線が出ているため、磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。
- ●テレビ・ラジオ・時計など
- ●キャッシュカード・自動改札用定期券など(記録が消えるおそれがあります)

⑤ 本製品を外部タイマーやリモコンで操作しないでください。
⑥ 本製品を並べてご使用にならないでください。

**⚠ 注意**
- ●排気口からは熱風が出るため、手や顔を近づけないでください。
- ●排気口から熱風が出て、卓上が熱くなります。
熱に弱い物の上で使わないでください。(ビニール製テーブルクロスなど)敷物が焦げたり、火災の原因となります。

# 各部の名称とはたらき

## 各部の名称

## 安全機能について

・鍋検知機能　トッププレートに載せた鍋が使用可能かどうか自動的に検知します。使用できない鍋の場合は自動的に加熱を停止し、モード切換ランプが点滅、ピッピっと鳴り続け約１分後にスタンバイ状態に戻ります。
・鍋なし検知機能　加熱中に鍋をはずすと自動的に加熱を停止し、スタンバイ状態に戻ります。
・小物検知機能　スプーンやナイフなどの小物を検知すると自動的に加熱を停止し、スタンバイ状態に戻ります。
・温度過昇防止機能　鍋底の温度が異常に上昇すると、自動的に加熱を停止し、スタンバイ状態に戻ります。
・切り忘れ防止機能　最後の操作から約2時間が過ぎると自動的に加熱を停止し、スタンバイ状態に戻ります。（タイマー設定状態の時には、この機能は作動しません。）

※ 押し間違いを防止するために、ボタンの反応時間を長めに設定してあります。各ボタンを操作する際には、音が鳴るまで指を離さないでください。

# 使える鍋と使えない鍋

安全のために、必ずCH・IH対応鍋をご使用ください。また、鍋の形状・材質によってはCH・IH対応鍋でも本製品でご使用になれない場合があります。使用前に必ず下記の要領でご確認ください。

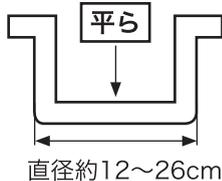
## ◯使える鍋

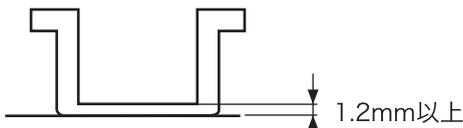
### 材質

●鉄・鉄鋳物・鉄ホーロー
●ステンレス
●ＩＨ対応土鍋

（注１）上記の材質であっても鍋底の形状・材質によって出力が弱くなったり、検知しない場合があります。
例）●鍋底に磁石が吸着しない鍋は、材質によって鍋を検知しないことがあります。
●鍋内部にステンレスプレートを使用したＩＨ対応土鍋の場合でも、厚みや形状によって鍋を検知しないことがあります。
●鍋底に鉄・ステンレス材を使用しているＩＨ対応鍋（多層鍋・土鍋・アルミ鍋など）の場合でも、厚みや形状によって鍋を検知しないことがあります。
（注２）鍋底が多層構造の鍋は、鍋底内部の材質によって使える鍋と使えない鍋があります。多層鍋をご利用の場合は、ＣＨ・ＩＨ対応の鍋をご使用ください。

### 底の形状

●鍋底が平らで反りやへこみのない鍋
●鍋底が平らで直径12～26ｃｍの鍋

直径約12～26cm

●鍋底の厚みが1.2mm以上の鍋)

※ 揚げ物調理時に使える鍋でも、大きさ・形状・材質などにより、設定温度に対して油の温度が高くなる場合があります。(調理器をご使用になる際は、調理用温度計などで温度を確認することをお勧めします。）

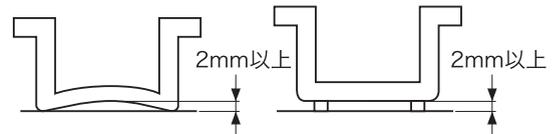
## ✕使えない鍋

### 材質

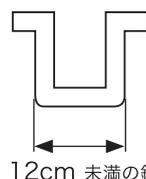
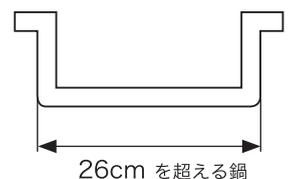
●耐熱ガラス
●陶器・陶磁器
●土鍋（ＩＨ対応品を除く）
●アルミ・アルミ合金・銅
●アルミ・アルミ合金・銅を含むもの

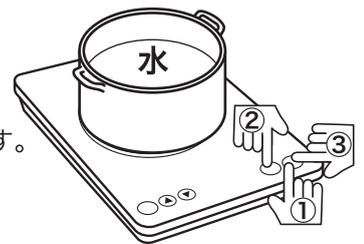
### 底の形状

●鍋底が平らでない鍋

鍋底が丸いもの(中華鍋など)

本製品との間に隙間のある鍋

※ すきまがあることによって、精度が悪くなり、実際の温度と表示温度に差が生じる可能性があります。

●鍋底が12cm未満または、26cmを超える鍋

## 使える鍋の見分け方

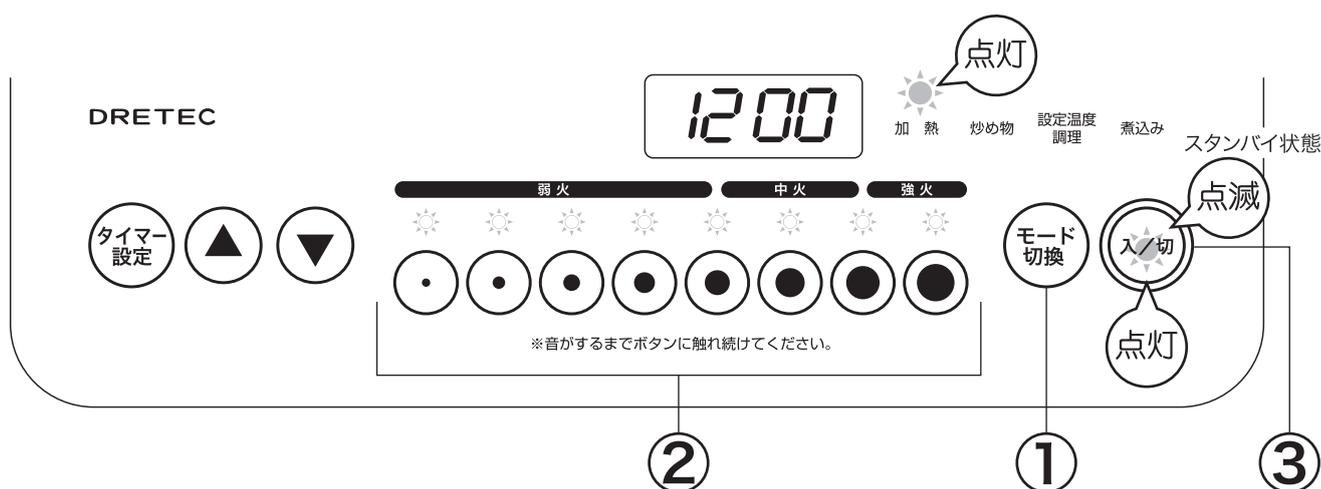
電源プラグをコンセントにさし込み、鍋に水を入れ、トッププレートにのせます。
①「入／切」ボタンを押します。
② 加熱モードで加熱してください。
・そのまま加熱されれば、その鍋は使用可能です。
・使えない鍋の場合は、ピッピッと鳴り続け、約１分後にスタンバイ状態に戻ります。
※サイズや形状が上記の「✕使えない鍋」の範ちゅうであっても、加熱され使用可能な場合がありますが、このような鍋は使用しないでください。
③ 加熱された場合は、「入／切」ボタンに触れて加熱を停止してください。
・トッププレートや鍋が熱くなる場合がありますのでご注意ください。やけどをするおそれがあります。

注意　揚げ物で使用する鍋について

・小さい鍋や底が反った鍋、脚付きの鍋などは油が異常に高温になり、発火して火災のおそれがあります。また油が少量の場合、通常よりも低い温度で発火して火災のおそれがあります。油の量は1200cc以上でご使用ください。

# ご使用方法（加熱調理１）

| 加熱モード | ゆっくりと温度を上げたい料理などに使います。 |
|---|---|

## 準　備

1. マグネットプラグを本体に取り付けます。次に、電源プラグをコンセントにさし込みます。
   ・ビープ音が「ピー」と１回鳴り、表示ランプが全て１度点灯したあとすぐに「入／切」ボタンだけランプが点滅しスタンバイ状態になります。
2. 材料や水を入れた鍋をトッププレートの中央に置いてください。
3. 「入／切」ボタンに触れます。
   ・表示部に「ーーーー」が表示され、「入／切」ボタンのランプが点滅から点灯にかわります。
   ・約２分間、何も操作をしないとピッと鳴って自動的にスタンバイ状態に戻ります。

① 「モード切換」ボタンに触れます。

※「加熱」モードにランプが点灯し、表示部に「1200」が表示され加熱を開始します。
※ 他のモードから切換える場合は、「加熱」モードにランプが点灯するまで「モード切換」ボタンに触れてください。

② 温度調節ボタンで火加減を調節します。

※ 100Wから1200Wまで８段階の設定ができます。
(100W/200W/300W/400W/600W/800W/1000W/1200W)

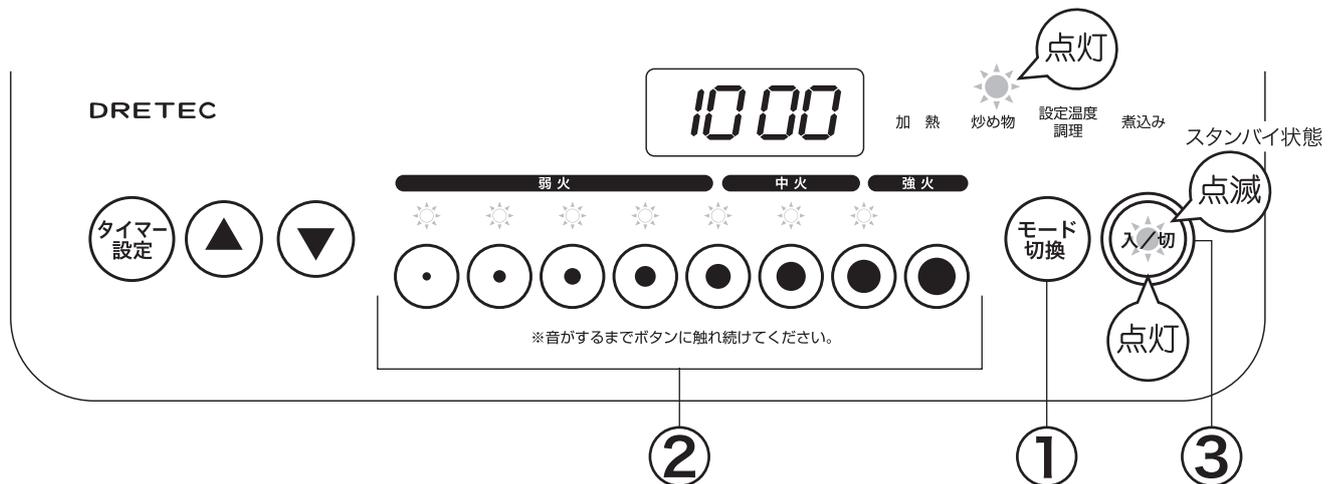
③ 調理が終わったら「入／切」ボタンに触れて加熱を停止してください。

※ 加熱を停止しても主電源は切れません。電源を切る場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
※ 使用後はトッププレートが熱くなっておりますので、手を触れないでください。やけどをするおそれがあります。
※ 加熱停止後も熱気をさますためしばらくの間、排気ファンが回ります。故障ではありません。

# ご使用方法（加熱調理２）

| 炒め物モード | 炒め物などに使います。 |
|---|---|

## 準　備

1. マグネットプラグを本体に取り付けます。次に、電源プラグをコンセントにさし込みます。
   ・ビープ音が「ピー」と１回鳴り、表示ランプが全て１度点灯したあとすぐに「入／切」ボタンだけランプが点滅しスタンバイ状態になります。
2. 材料や水を入れた鍋をトッププレートの中央に置いてください。
3. 「入／切」ボタンに触れます。
   ・表示部に「ーーーー」が表示され、「入／切」ボタンのランプが点滅から点灯にかわります。
   ・約２分間、何も操作をしないとピッと鳴って自動的にスタンバイ状態に戻ります。

① **「モード切換」ボタンに触れて「炒め物」モードを選びます。**
※「炒め物」モードにランプが点灯し、表示部に「1000」が表示され加熱を続けます。
※ 他のモードから切換える場合は、「炒め物」モードにランプが点灯するまで「モード切換」ボタンに触れてください。

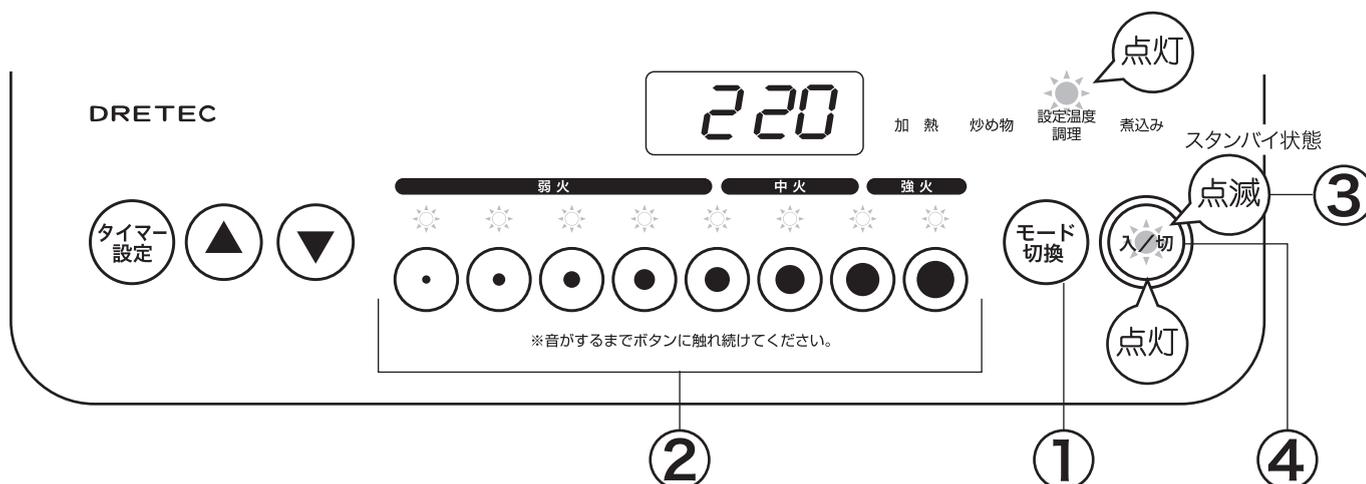
② **温度調節ボタンに触れて火加減を調節します。**
※ 100Wから1200Wまで８段階の設定ができます。
（100W/200W/300W/400W/600W/800W/1000W/1200W）

③ **調理が終わったら「入／切」ボタンに触れて加熱を停止してください。**
※ 加熱を停止しても主電源は切れません。電源を切る場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
※ 使用後はトッププレートが熱くなっておりますので、手を触れないでください。やけどをするおそれがあります。
※ 加熱停止後も熱気をさますためしばらくの間、排気ファンが回ります。故障ではありません。

# ご使用方法（定温調理１）

| 設定温度調理モード | 揚げ物やフォンデュ、お菓子作りにご利用ください。 |
|---|---|

## 準　備

1. マグネットプラグを本体に取り付けます。次に、電源プラグをコンセントにさし込みます。
   ・ビープ音が「ピー」と１回鳴り、表示ランプが全て１度点灯したあとすぐに「入／切」ボタンだけランプが点滅しスタンバイ状態になります。
2. 材料や水を入れた鍋をトッププレートの中央に置いてください。
3. 「入／切」ボタンに触れます。
   ・表示部に「－－－－」が表示され、「入／切」ボタンのランプが点滅から点灯にかわります。
   ・約２分間、何も操作をしないとピッと鳴って自動的にスタンバイ状態に戻ります。

① 「モード切換」ボタンに触れて「設定温度調理」モードを選びます。
　※「設定温度調理」モードにランプが点灯し、表示部に「220」が表示され加熱を続けます。
　※ 他のモードから切換える場合は「設定温度調理」モードにランプが点灯するまで「モード切換」ボタンに触れてください。

② 温度調節ボタンに触れて火加減を設定します。
　※ 60℃から220℃まで８段階の設定ができます。
　(60℃/80℃/100℃/140℃/160℃/180℃/200℃/220℃)

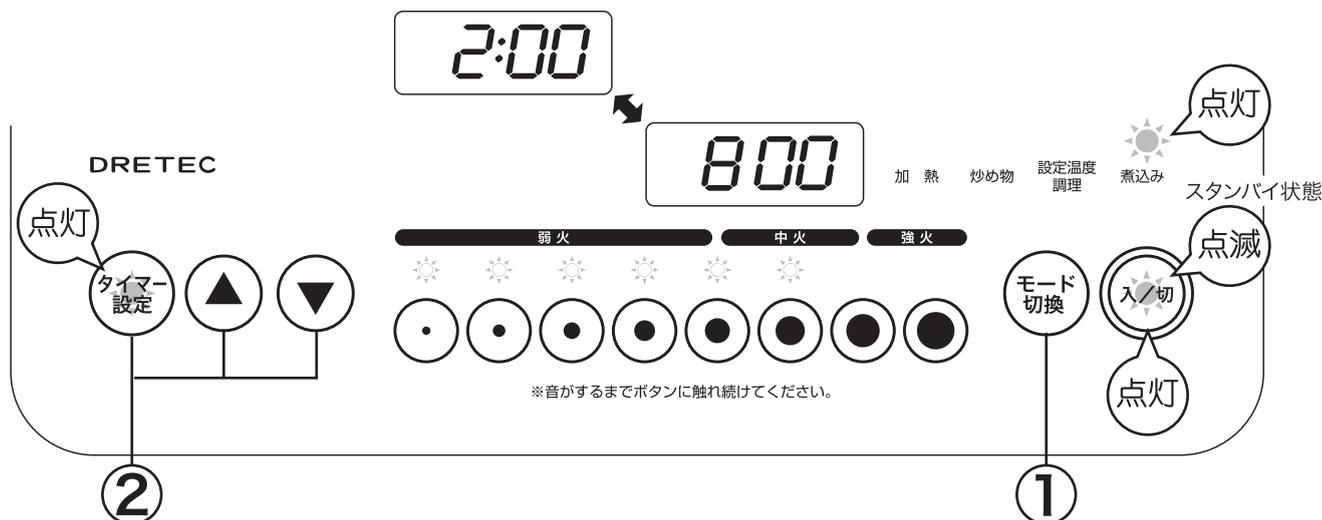
③ 設定した温度を保持し続けます。
　※ 設定した温度に到達すると、その温度部のランプが点灯から点滅に変わります。
　※ なべの材質、内容物などにより設定温度に対して誤差が生じることがあります。調理用温度計などで温度を確認することをおすすめします。

④ 調理が終わったら「入／切」ボタンに触れて加熱を停止してください。
　※ 加熱を停止しても主電源は切れません。電源を切る場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
　※ 使用後はトッププレートが熱くなっておりますので、手を触れないでください。やけどをするおそれがあります。
　※ 加熱停止後も熱気をさますためしばらくの間、排気ファンが回ります。故障ではありません。

# ご使用方法（定温調理2）

| 煮込みモード | シチューや煮込み料理にご利用ください。 |
|---|---|

## 準　備

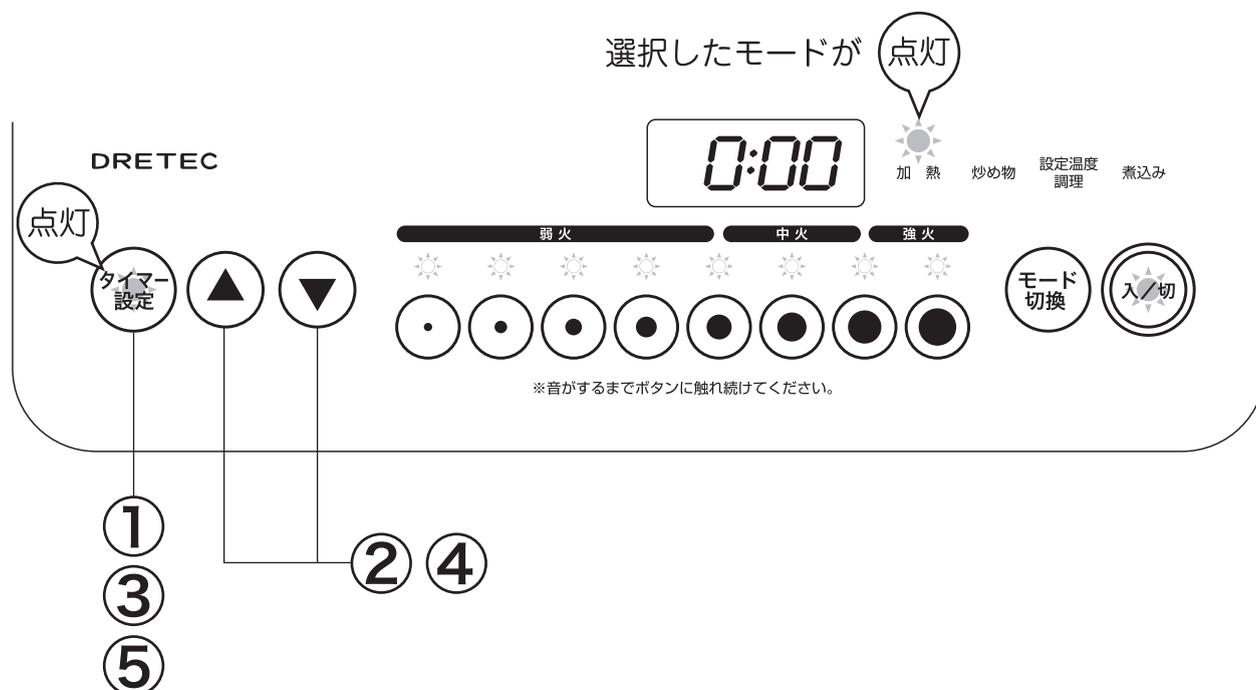
1. マグネットプラグを本体に取り付けます。次に、電源プラグをコンセントにさし込みます。
   ・ビープ音が「ピー」と1回鳴り、表示ランプが全て1度点灯したあとすぐに「入／切」ボタンだけランプが点滅しスタンバイ状態になります。
2. 材料や水を入れた鍋をトッププレートの中央に置いてください。
3. 「入／切」ボタンに触れます。
   ・表示部に「－－－－」が表示され、「入／切」ボタンのランプが点滅から点灯にかわります。
   ・約2分間、何も操作をしないとピッと鳴って自動的にスタンバイ状態に戻ります。

① **「モード切換」ボタンに触れて「煮込み」モードを選びます。**
　※「煮込み」モードと「タイマー設定」のランプが点灯し、表示部に「2：00」と「800」が交互に表示され、加熱を続けます。
　※ 他のモードから切換える場合は、「煮込み」モードにランプが点灯するまで「モ ード切換」ボタンに触れてください。

② **「タイマー設定」ボタンに触れ「△」「▽」ボタンで煮込み時間を設定します。**
　※ 初期設定では2時間になっています。出力は800Wに固定され調節はできません。
　※ タイマーの設定は**タイマー設定の方法**（P.12）をご覧ください。

③ **設定時間になると自動的に加熱を停止し、ビープ音がピッピッと2回鳴りスタンバイ状態に戻ります。**
　※ 使用後はトッププレートが熱くなっておりますので、手を触れないでください。やけどをするおそれがあります。
　※ 加熱停止後も熱気をさますためにしばらくの間、排気ファンが回ります。故障ではありません。

# タイマーの設定方法

本製品は、調理時間終了までのタイマーの設定ができます。「煮込み」モードだけではなく、「加熱」「炒め物」「設定温度調理」のどのモードでもタイマーのセットは可能です。

タイマー設定は各モードを選択し加熱が開始されてから、操作することができます。

① 「タイマー設定」ボタンに触れます。

※「タイマー設定」ボタンにランプが点灯し、表示部に「0:00」が表示され「時間」の桁が点滅を始めます。

② 「△」「▽」ボタンに触れて任意の「時間」を設定します。

※ ボタンに触れたままでいると、数字が早送りになります。
※ 何も操作をしないと約５秒後にタイマー設定は解除されます。

③ 「タイマー設定」ボタンに触れると「時間」が確定し、「分」の桁が点滅します。

④ 「△」「▽」ボタンに触れて任意の「分」を設定します。

※ ボタンに触れたままでいると、数字が早送りになります。
※ 何も操作をしないと約５秒後にタイマー設定は解除されます。

⑤ 「タイマー設定」ボタンに触れると「分」が確定し、設定が終了します。

※ 設定が終わると表示部に、残り時間と設定電力（「設定温度調理」モードの場合は設定温度）が交互に表示されます。

⑥ セット時間になると自動的に加熱を停止しスタンバイ状態に戻り、ビープ音がピッピッと２回鳴ってお知らせします。

※ 本製品には保温機能はついておりません。

# お手入れと保管方法

警告 ●必ずコンセントから電源プラグを抜いて、トッププレートや本体が冷めてから、お手入れしてください。
●お手入れの際に次のものは使わないでください。変色、変質するおそれがあります。
シンナー・ベンジン・ガソリン・灯油・アルコールなど

**トッププレート**

よごれは、ぬるま湯または中性洗剤をつけてかたく絞ったふきんで拭き取ってください。汚れがひどい場合は、みがき粉かクリームクレンザーを使ってこすったあとで、かたく絞ったふきんで拭き取ってください。（金属たわしなどは使わないでください。傷をつけるおそれがあります。）

**本体ケース・操作部分**

かたく絞ったふきんで拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤をつけて、かたく絞ったふきんで拭き取ってください。（お手入れの際に直接水や洗剤をかけて掃除することは、絶対にしないでください。また、みがき粉やクリームクレンザーなどを使用しますとケースに傷をつけるおそれがありますので、使用しないでください。）

**吸気口・排気口**

掃除機でほこりを吸い取ってください。ほこりがついたまま使用すると、本体内部に熱がこもり、発熱・発火・故障の原因になります。
※使用しないときは、ほこりなど異物が本製品内部に入らないように箱や袋に入れて保管してください。

# 故障かな?と思ったら

異常があったときは、以下の点をお調べになり、それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

| こんなとき | お調べいただく内容 |
|---|---|
| 「入／切」ボタンを押しても表示がつかない。(電源が入らない) | ・電源プラグが抜けていませんか。<br>・お部屋のブレーカーが落ちていませんか。 |
| 「入／切」ボタンを押していないのにあたたかい。 | ・電源を切っていても、電源プラグがコンセントにさし込まれていると、数W(ワット)の電力が消費されているため、あたたかくなることがあります。 |
| 調理中に電源が切れた。 | ・ナイフなどの金属の小物がのっていませんか。<br>・2時間以上操作せずに加熱していませんか。(切り忘れ防止機能により停止)<br>・空だきをしていませんか。(温度加昇防止機能により停止) |
| ピ–ピ–とビープ音が鳴り続けて、しばらくすると止まる。<br>E2、E3、E4 表示 | ・オーバーヒートの可能性があります。本体を十分に冷ましてから、再度ご使用ください。<br>・空だきをしたり、吸排気口がふさがれていませんか。(プレートや本体内部が異常に高温になるとビープ音が鳴り、停止します) |
| 排気ファンの付近から異音がしたり、回転に異常がある。 | ・このような場合は危険ですので電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡いただき、修理をご依頼ください。 |
| 電源コードに傷がついたり、切れてしまったとき。 | ・このような場合は危険ですので電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。 |

| 警　告 | 改造は絶対にしないでください。また、修理技術者以外の人が分解したり修理しないでください。<br>●火災・けが・感電の原因になります。<br>●故障したときは、コンセントから電源プラグを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。 |
|---|---|

# アフターサービスについて

**修理やお取り扱いのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。**

### 製品の保証について

●この説明書には製品の保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

**保証期間：お買い上げ日から本体１年間以内**

●上記の期間は原則として無償で修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合がありますので、詳しくは保証書の記載内容をお読みください。
●保証期間後の修理について
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料で修理させて頂きます。

### 修理を依頼されるとき

●「故障かな？と思ったら」の表にて確認していただき、それでも異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店に製品と保証書をご持参の上、修理をご依頼ください。なお、製品修理以外の責任はご容赦ください。

### 補修用性能部品について

●この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後６年です。

### お問い合わせ先

●ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または、株式会社ドリテックまでお問い合わせください。

お客様相談センター　フリーコール 0120-875-019
（受付時間：月～金10：00～12：00, 13：00～16：00 祝祭日および当社指定休日を除く）

# 仕　様

| 品　番 | ＤＩ－１０８ |
|---|---|
| 電　源 | ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ |
| 定格消費電力 | １２００Ｗ |
| 出力調節機能 | 100W/200W/300W/400W/600W/800W/1000W/1200W |
| 温度調節機能 | 60,80,100,140,160,180,200,220℃ |
| タイマー | 1分 ～ 23時間59分 |
| 本体寸法 | 約 幅 ３００ × 奥行 ３６０ × 高さ ４３ mm |
| 本体重量 | 約 ２．７ kg |
| 電源コード | 約1．８ｍ（マグネットプラグ） |
| 主要部品材質 | 本体ケース　：ＡＢＳ樹脂<br>トッププレート：耐熱ガラス |

# 保 証 書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。
本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店へご相談ください。

| 品　番 | DI-108 | | |
|---|---|---|---|
| 保証期間 | 対 象 部 品 | お買い上げ日より | 保 証 条 件 |
| | 本体・電源コード | 1年以内 | 持込修理 |
| お買い上げ日 | 年 | 月 | 日 |
| お 客 様 | お名前<br>ご住所<br>お電話 | | |
| 販 売 店 | 販売店名<br>ご住所<br>お電話 | | |

## 〈保証規定〉

●次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
　※ 誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等による故障または損傷。
　※ ご使用上に生じる外観の変化。
　※ 本保証書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
　※ 本保証書のご提示がない場合。
　※ 一般家庭以外（例として、業務用としての使用）に使用された場合の故障および損傷。
●有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。また法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。
●お買い上げ後1年間の保証期間内に、正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
●ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店、または株式会社ドリテックへご連絡ください。
●ご贈答などで本書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、株式会社ドリテックへご連絡ください。
●本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
●保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

| 修理メモ |
|---|
| |


輸入発売元 株式会社 ドリテック 〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9
URL : http://www.dretec.co.jp
お客様相談センター フリーコール 0120-875-019
（受付時間 : 月～金10 : 00～12 : 00, 13 : 00～16 : 00 祝祭日および当社指定休日を除く）